

国道25号大阪柏原バイパス整備促進期成同盟会

設 立 趣 意 書

国道25号は、大阪府と奈良県を結ぶ交通の動脈であり、地域産業活動の要となる路線に位置付けており、東部大阪地域の重要な道路であるが、現状は、2車線道路で住宅や商店、各種事業所などが密集して隣接しており、4車線化が非常に困難で、歩道整備もされていない箇所が多数存在している。

そのような中、国道25号には、交通が集中し、慢性的な渋滞の発生に伴い、定時性・速達性の確保ができず、さらには、一級河川大和川と並行している区間である国分寺大橋東交差点から藤井2丁目交差点において、水位上昇による通行止めが生じることもあり、様々な分野で数多くの問題を抱えている。

さらに、近年各地で被害が多発している集中豪雨や、近い将来発生が予測されている南海トラフ地震などの被害から市民の財産、生命を守るため、国土強靱化が急務とされている。

大阪中央環状線、大阪外環状線を補完する南北の広域幹線である都市計画道路八尾富田林線や都市計画道路敷津長吉線の整備が進む中、災害時の府県間をつなぐ緊急輸送道路として、八尾空港、中部広域防災拠点や広域医療搬送拠点への重要なアクセス路としての効果も期待される道路ネットワークの構築や国道25号の交通渋滞緩和を図ることができる国道25号大阪柏原バイパス道路の整備が重要である。

以上のことから、国道25号の渋滞緩和、災害時における緊急輸送道路ネットワークの強化、物流網の拡大や効率化による地域産業の振興を図るため、関係機関が志を一に、国道25号バイパス道路の早期事業化を強力かつ着実に推し進めていくことを目的に、国道25号大阪柏原バイパス整備促進期成同盟会を設立するものである。

令和2年12月24日

大阪市長 松井 一郎
八尾市長 大松 桂右
柏原市長 富宅 正浩